PRESS RELEASE
報道発表資料

日本の魅力を、日本のチカラに。
JNTO 日本政府観光局

※本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

2026 年 1 月 23 日

2025 年度「国際会議誘致・開催貢献賞」の受賞会議が決定！

- 日本政府観光局（JNTO）では、毎年、誘致活動時や開催時において優れた取組を行った国際会議に対して「国際会議誘致・開催貢献賞」を選定・表彰しています。
- 2025 年度は、「国際会議誘致の部」で 4 件、「国際会議開催の部（大規模会議部門）」で 4 件、「国際会議開催の部（中小規模会議部門）」で 5 件の合計 13 件の国際会議を選出しました。
- 新たに、「国際会議誘致・開催貢献賞」ロゴと英語名称を決定しました。
- 表彰式は 2026 年 2 月 12 日（木）に東京都内にて開催します。

日本政府観光局（JNTO）では、2008 年より、誘致や開催において優れた取組を行った国際会議に対し「国際会議誘致・開催貢献賞」を選定・表彰しています。

今回の受賞会議では、市民や子どもたちが地域を案内するツアー、地元企業と協働したヴィーガンメニューの開発、会議会場周辺施設による歓迎バナー掲示など、地域と連携した取組が評価されました。さらに、離島へのスタディツアーや瀬戸内海の島でのレセプション開催など、地域の魅力発信にも大きく寄与しました。また、開催都市のスタートアップ企業への訪問や地元研究者との交流会実施など、地元産業界と参加者の交流の場を創出した点も高く評価されています。

また、海外研究者と国内大学・教育機関の連携促進を目的に、地域の大学による先端技術の社会実装の視察、市内の中高生向けロボット工学ツアー、小中高校生の学会ポスター発表が行われるなど、次世代育成に貢献した会議もありました。

「国際会議誘致・開催貢献賞」の新たなロゴマークと英語名称「Japan Conference Excellence Awards」を決定し、今後の認知向上に活用していきます。

2025 Japan Conference Excellence Awards

2025 年度「国際会議誘致・開催貢献賞」表彰式　取材のご案内

■日時：2026 年 2 月 12 日（木）14：30～16：10（メディア受付は 14：00～）

■会場：東京国際フォーラム

※本表彰式の取材をご希望の場合は、別紙に記載のフォームにてお申し込みください。

Japan. Meetings & Events New ideas start here

独立行政法人 国際観光振興機構
企画総室　広報グループ

〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-6-4
TEL: 03-5369-3342 FAX: 03-3350-5200
URL: https://www.jnto.go.jp/

2025 年度受賞会議一覧（詳細は別紙参照） ※掲載は開催年月日順

【国際会議誘致の部】

- 第 23 回アジア・オセアニア地球科学学会年会（AOGS2026）（開催年：2026 年、開催都市：福岡県福岡市）
- 第 21 回国際小児腎臓学会（開催年：2027 年、開催都市：京都府京都市）
- IEEE 音響・音声・信号処理に関する国際会議 2028（開催年：2028 年、開催都市：東京都）
- 第 26 回世界哲学会議（WCP2028）（開催年：2028 年、開催都市：東京都）

【国際会議開催の部（大規模会議部門）】

- IEEE ロボット工学とオートメーションに関する国際会議 2024（開催年 2024 年、開催都市：神奈川県横浜市）
- 第 27 回国際昆虫学会議（開催年：2024 年、開催都市：京都府京都市）
- 第 8 回保健システム研究グローバルシンポジウム（開催年：2024 年、開催都市：長崎県長崎市）
- 世界理学療法連盟学会 2025（開催年：2025 年、開催都市：東京都）

【国際会議開催の部（中小規模会議部門）】

- 第 18 回アジア太平洋ギフテッド教育研究大会（開催年：2024 年、開催都市：香川県高松市）
- IGLTA 2024 大阪総会（開催年：2024 年、開催都市：大阪府大阪市）
- 第 20 回世界バラ会議福山大会 2025（開催年：2025 年、開催都市：広島県福山市）
- ISO TC37 年次総会（開催年：2025 年、開催都市：香川県高松市）
- 第 16 回国際クマムシ学会（開催年：2025 年、開催都市：山形県鶴岡市）

国際会議誘致・開催貢献賞の概要

国際会議の開催は、開催地への外国人参加者の来訪に加え、地元産業と学会を連携させることによる地域の活性化や経済発展に繋がります。本賞は、先進性、独創性を含んだ企画力や地域貢献等を含む優れたレガシー効果を生み出す会議など、今後のベストプラクティスとなる国際会議の事例を表彰し、会議主催者や一般の方に国際会議誘致・開催の重要性の理解の促進を図ることを目的としており、誘致・開催の 2 部門で、有識者による審査を経て表彰します。当事業は 2008 年度より実施しており、本年度で 18 年目を迎えます。

概要および受賞会議はこちら：https://mice.jnto.go.jp/about-jnto/activities/commendation/

【対象となる国際会議】

参加者総数 50 名以上、かつ参加者の国籍が日本を含む 3 カ国以上で開催期間が 1 日以上

2024 年 4 月 1 日～2025 年 6 月 30 日に誘致決定または日本で開催された国際会議

※開催の部においては、大規模会議（総参加者 1,000 名以上）と中小規模会議（総参加者 1,000 名未満）の 2 つのカテゴリーに分け、審査を行った。

【お問い合わせ先】
MICE プロモーション部　誘致推進グループ　佐藤・菊池
TEL：03-5369-6015　E-MAIL：yuchi@jnto.go.jp

別紙

2025年度国際会議誘致・開催貢献賞「国際会議誘致の部」受賞会議

会議名	（和名）第23回アジア・オセアニア地球科学学会年会（AOGS2026）		
	（英文）23rd Annual Meeting of Asia Oceania Geosciences Society (AOGS2026)		
主催者	AOGS2026実行委員会	開催都市	福岡県福岡市
開催予定期間	2026年8月2日～8月7日（6日間）	競合	メルボルン（オーストラリア）
参加予定人数（外国人参加者数）	4,000名（3,000名）	参加予定国・地域数	50カ国・地域
会議概要	地球科学に関する研究者等が集まり、純粋科学から自然災害・環境問題対応まで幅広く知見や情報を共有する国際会議		
受賞理由	2022年大会誘致失敗の経験を踏まえた利便性の高い会場プランの提案や、国際本部のキーパーソンを事前に招聘するなどの戦略的ロビー活動を行ったほか、開催地・福岡市との強い連携により、運営面での強力な支援を得る体制を構築した。九州の特色である桜島など活火山をテーマとしたエクスカーションや、高校生によるポスターセッション企画など次世代育成の取組も評価された。		

©日本政府観光局（JNTO）　禁無断転載・複製

別紙

2025年度国際会議誘致・開催貢献賞「国際会議誘致の部」受賞会議

会議名	（和名）第21回国際小児腎臓学会		
	（英文）21st Congress of the International Pediatric Nephrology Association		
主催者	一般社団法人日本小児腎臓病学会	開催都市	京都府京都市
開催予定期間	2027年3月9日～3月13日（5日間）	競合	ドバイ（UAE） ダブリン（アイルランド）
参加予定人数（外国人参加者数）	1,500名（900名）	参加予定国・地域数	50カ国・地域
会議概要	小児腎臓病の診察・研究の発展を目的とした国際会議		
受賞理由	有力な競合国があったため、招致委員会による精力的なアプローチや国内外の関連学会から日本開催支持を取り付けるなど入念なロビー活動を行ったことに加え、会期を京都観光のハイシーズンから外すことで京都市からの支援につながった。日本の水道水の安全性のアピール、誘致委員会の半数を女性とするジェンダー配慮、若手向け実践的ワークショップの企画なども評価された。		

©日本政府観光局（JNTO）　禁無断転載・複製

2025年度国際会議誘致・開催貢献賞「国際会議誘致の部」受賞会議

別紙

会議名	（和名）IEEE音響・音声・信号処理に関する国際会議2028		
	（英文）2028 IEEE International Conference on Acoustics, Speech and Signal Processing		
主催者	ICASSP2028招致委員会	開催都市	東京都
開催予定期間	2028年5月29日～6月2日（5日間）	競合	ワシントンD・C（米国） コペンハーゲン（デンマーク）
参加予定人数（外国人参加者数）	5,000名（4,000名）	参加予定国・地域数	70カ国・地域
会議概要	会員数50万人を超える電気・情報分野では最大の学会であるIEEEが主催する、信号処理工学分野では世界最大の会議		
受賞理由	開催地・東京都と連携した緻密な開催計画や三度に亘る国際本部からの視察受入等により誘致に成功した。また学術界と産業界の要素を融合したSDGsに関する新たなセッションや会場周辺の大手テック企業・スタートアップ企業の訪問等、地元産業界と密に連携した企画や、学生と若手研究者の交流イベントやサマースクールなど、地元および国内の学生の参加を促す企画が評価された。		

©日本政府観光局（JNTO）　禁無断転載・複製

2025年度国際会議誘致・開催貢献賞「国際会議誘致の部」受賞会議

別紙

会議名	（和名）第26回世界哲学会議（WCP2028）		
	（英文）World Congress of Philosophy 2028		
主催者	WCP2028招致委員会	開催都市	東京都
開催予定期間	2028年8月（8日間）	競合	アディスアベバ（エチオピア） フジャイラ（UAE）
参加予定人数（外国人参加者数）	4,000名（3,500名）	参加予定国・地域数	100カ国・地域
会議概要	世界各国から哲学の研究者等が一堂に会する国際会議		
受賞理由	2023年大会誘致で課題とされた会場分散を改め会場の一本化により移動の負担を軽減したほか、国内の複数の学会による協力体制、東京都と連携した緻密な開催計画などによるオールジャパン体制で誘致を行った。さらに女性の招致委員会への参加促進により、並行して「女性世界哲学会議」の誘致にも成功した点や、AI翻訳の活用による多言語対応等の参加促進が評価された。		

©日本政府観光局（JNTO）　禁無断転載・複製

2025年度国際会議誘致・開催貢献賞「国際会議開催の部（大規模会議部門）」受賞会議

別紙

会議名	（和名）IEEEロボット工学とオートメーションに関する国際会議2024		
	（英文）2024 IEEE International Conference on Robotics and Automation（ICRA2024）		
主催者	ICRA2024実行委員会	開催都市	神奈川県横浜市
開催期間	2024年5月13日～5月17日（5日間）		

ロボット展示の様子
©ICRA2024実行委員会/㈱コングレ

参加人数（外国人参加者数）	7,164名（5,501名）	参加国・地域数	66カ国・地域
会議概要	知能ロボットと自動制御技術における理論や技術の研究・開発・応用について議論する国際会議		
受賞理由	国内企業・大学と海外研究者との連携促進を目的に、世界中のロボット開発者が最新のデモを行うロボット展示を実施したほか、会議参加者と地元技術者との交流会を実施し共同研究の創出に繋げた。また次世代育成のためロボット工学を学ぶ市内中高生を招いたツアーを実施した点や、横浜の花火イベントに国際会議として初めて協賛し花火の打ち上げを行うという地元との連携取組が評価された。		

©日本政府観光局（JNTO）　禁無断転載・複製

2025年度国際会議誘致・開催貢献賞「国際会議開催の部（大規模会議部門）」受賞会議

別紙

会議名	（和名）第27回国際昆虫学会議 （英文）27th International Congress of Entomology (ICE2024 KYOTO)		
主催者	日本昆虫科学連合 日本学術会議	開催都市	京都府京都市
開催期間	2024年8月25日～8月30日（6日間）		

女性研究者の活躍促進を目的とした
「Women in Entomology」の講演会の様子

参加人数（外国人参加者数）	4,278名（2,957名）	参加国・地域数	82カ国・地域
会議概要	昆虫学分野における世界最大の国際会議		
受賞理由	参加者増に向けて開始前からSNSを効果的に活用しPRを行い、会期中もSNSを通じた参加者間の交流が生まれたほか、小中高生によるポスター発表や研究者との交流会、市民応募による写真展や絵画展を実施する等、次世代育成や市民参加型の取組に力を入れた。また女性研究者の活躍促進を目的とした講演会等の実施や賞の創設の取組も評価された。		

©日本政府観光局（JNTO）　禁無断転載・複製

2025年度国際会議誘致・開催貢献賞「国際会議開催の部（大規模会議部門）」受賞会議

別紙

会議名	（和名）第8回保健システム研究グローバルシンポジウム		
	（英文）HSR2024（The 8th Global Symposium on Health Systems Research）		
主催者	国立大学法人長崎大学 独立行政法人国際協力機構（JICA）	開催都市	長崎県長崎市
開催期間	2024年11月18日～11月22日（5日間）		

離島へのスタディーツアーの様子

参加人数（外国人参加者数）	1,552名（1,420名）	参加国・地域数	110カ国・地域
会議概要	保健政策・保健システムの研究者、政策決定者、実務者が集まる世界最大のシンポジウム		
受賞理由	地元の産官学民が一体となり受入体制を整え、高校生なども参加した市民公開講座の開催や、地元の複数事業者の協働によるハラル・ヴィーガン等多様なメニュー開発を行った。また長崎県五島市との連携によるドローンを活用した遠隔医療など離島が抱える課題を克服する先進的な取組事例を学ぶスタディツアーの実施も高く評価された。		

©日本政府観光局（JNTO）　禁無断転載・複製

2025年度国際会議誘致・開催貢献賞「国際会議開催の部（大規模会議部門）」受賞会議

別紙

会議名	（和名）世界理学療法連盟学会2025		
	（英文）World Physiotherapy Congress 2025		
主催者	公益社団法人日本理学療法士協会	開催都市	東京都
開催期間	2025年5月29日～5月31日（3日間）		

丸の内仲通りでのラジオ体操の様子

参加人数（外国人参加者数）	4,519名（3,078名）	参加国・地域数	111カ国・地域
会議概要	理学療法に関する研究、教育、実践の促進を目的とした世界最大級の理学療法士による国際会議		
受賞理由	地域DMOとの連携により近隣オフィスワーカーも参加したラジオ体操の実施というユニークな取組に加え、10言語に対応した同時通訳アプリの導入や、日本文化体験ブースでのプリクラ機が人気を博すなど、参加者満足度の向上を図る取組を行った。日本理学療法士育成水準のグローバルレベルへの引き上げという政策提言を発表し、本会議のレガシーを掲げた点も評価された。		

©日本政府観光局（JNTO）　禁無断転載・複製

2025年度国際会議誘致・開催貢献賞「国際会議開催の部（中小規模会議部門）」受賞会議

別紙

会議名	（和名）第18回アジア太平洋ギフテッド教育研究大会		
	（英文）The 18th Asia-Pacific Conference on Giftedness		
主催者	第18回アジア太平洋ギフテッド教育研究大会実行委員会	開催都市	香川県高松市
開催期間	2024年8月16日～8月20日（5日間）		

地元漁業関係者との地引網体験の様子
©杉田憲一

参加人数（外国人参加者数）	420名（310名）	参加国・地域数	26カ国・地域
会議概要	ギフテッドな子供（特異な才能のある子供）のための教育研究・実践に関する国際会議		
受賞理由	クラウドファンディングによる資金調達や、高松市のスーパーサイエンススクールの視察や小豆島での地引網体験等、地域資源を活用した取組を行ったほか、これを契機に愛媛大学に才能教育センターが設置された。また会期直前に気象庁から南海トラフ地震に関する注意情報が発表されたが、迅速に情報発信や対応マニュアル作成・共有を行ったことが災害対応の参考事例として評価された。		

©日本政府観光局（JNTO）　禁無断転載・複製

2025年度国際会議誘致・開催貢献賞「国際会議開催の部（中小規模会議部門）」受賞会議

別紙

会議名	（和名）IGLTA 2024 大阪総会 （英文）IGLTA 2024 Global Convention in Osaka		
主催者	The International LGBTQ+ Travel Association	開催都市	大阪府大阪市
開催期間	2024年10月23日～10月26日（4日間）		

会期中に掲出したウェルカムバナー
©大阪観光局

参加人数（外国人参加者数）	575名（350名）	参加国・地域数	51カ国・地域
会議概要	LGBTQツーリズムの普及を目的とする旅行業団体による国際会議		
受賞理由	会場周辺の施設に協力を得て統一ウェルカムバナーを掲出する等、地域が一体となり本会議をホストしたほか、ユニークベニューとして住吉大社を活用。また大阪だけでなく複数都市と協働してPR活動や広域を訪問するプレ／ポストツアーを行った点が評価された。40以上の海外メディアが取材に訪れ、LGBTQ＋フレンドリーな街として大阪のプレゼンス及びブランド力向上に寄与した。		

©日本政府観光局（JNTO）　禁無断転載・複製

2025年度国際会議誘致・開催貢献賞「国際会議開催の部（中小規模会議部門）」受賞会議

別紙

会議名	（和名）第20回世界バラ会議福山大会2025		
	（英文）WFRS 20th WORLD ROSE CONVENTION 2025 in FUKUYAMA		
主催者	世界バラ会議福山大会実行委員会	開催都市	広島県福山市
開催期間	2025年5月18日～5月24日（7日間）		

ボランティア・認定バラガイドによる案内の様子

参加人数（外国人参加者数）	723名（256名）	参加国・地域数	28カ国・地域
会議概要	バラの研究家、生産者、愛好家などが集いバラの研究促進や交流を行う国際会議		
受賞理由	「バラのまちづくり」を進めてきた歴史を背景に、会期中には地元商店街で市民と大会参加者との交流会、住民や子どもたちが地域のバラ花壇を案内するツアーの実施、200人を超える市民ボランティアの参画など、市民参加型の大会運営が評価された。福山城やバラの咲く公園、商店街などをユニークベニューとして活用したほか、ガーデンツーリズムの推進などコンテンツ開発にもつながった。		

©日本政府観光局（JNTO）　禁無断転載・複製

2025年度国際会議誘致・開催貢献賞「国際会議開催の部（中小規模会議部門）」受賞会議

別紙

会議名	（和名）ISO TC37 年次総会 （英文）ISO/TC 37 and SCs meetings		
主催者	一般社団法人情報科学技術協会	開催都市	香川県高松市
開催期間	2025年6月22日～6月28日（7日間）		

女木島で開催したレセプションの様子

参加人数（外国人参加者数）	112名（81名）	参加国・地域数	30カ国・地域
会議概要	用語、翻訳・通訳、コンテンツ資源など、言葉に関する国際規格の策定・改定を議論する国際会議		
受賞理由	充実した対面限定イベントや高松空港の利便性を積極的に英語で発信し、参加者数の確保に務めた。地元の無形文化財である人形浄瑠璃や伝統的酒造りの紹介、瀬戸内海の島でのレセプションの実現は、今後に繋がる地域へのレガシー創出となった。バンケットでの会議名を刻印した箸の使用は、環境配慮と文化の紹介が融合したユニークな取組として評価された。		

©日本政府観光局（JNTO）　禁無断転載・複製

2025年度国際会議誘致・開催貢献賞「国際会議開催の部（中小規模会議部門）」受賞会議

別紙

会議名	（和名）第16回国際クマムシ学会 （英文）16th International Symposium on Tardigrada		
主催者	第16回国際クマムシ学会実行委員会	開催都市	山形県鶴岡市
開催期間	2025年6月23 日～6月27日（5日間）		

オープニングセレモニー「侍ショー」の様子

参加人数（外国人参加者数）	119名（90名）	参加国・地域数	20カ国・地域
会議概要	体長1mm以下の微小動物で、宇宙空間にも耐えるクマムシの研究に関する国際会議		
受賞理由	地元事業者と協力し、地域資源を活かした魅力的なプログラム実施により、欧州開催時よりも参加者数を増やした。地域に拠点を持つ大学による先端技術の社会実装の視察のほか、特に地元高校生が案内する羽黒山英語ツアーは、研究者と市民の交流の場を創出し、次世代育成につながったと評価された。また外国人受入のマニュアルや情報を整備し、課題解決に取り組んだ点も評価された。		

©日本政府観光局（JNTO）　禁無断転載・複製

別紙

国際会議誘致･開催貢献賞　ロゴマークと英語名称を決定

- 日本政府観光局は、国際会議誘致・開催貢献賞の認知度向上を目的に、新たにロゴマークおよび英語名称「Japan Conference Excellence Awards」を決定しました。
- 国際会議を日本へ誘致・開催された功績を称え、国際会議への理解促進に向けて、発信力の強化に取り組んでまいります。

2025
Japan
Conference
Excellence
Awards

<デザインコンセプト>

日の丸とメダル（受賞）をかけ合わせて、日本の伝統模様 「七宝」を連想させるロゴ。功績と価値をシンプルかつアイコニックに表現したデザインとしています。色は JNTO ロゴのキーカラーである赤に加え、ゴールドと黒の３色で展開しました。

独立行政法人 国際観光振興機構
企画総室　広報グループ
〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-6-4
TEL: 03-5369-3342　FAX: 03-3350-5200
URL: https://www.jnto.go.jp/

PRESS RELEASE
報道発表資料

日本の魅力を、日本のチカラに。
JNTO 日本政府観光局

報道関係各位

別紙

2025 年度「国際会議誘致・開催貢献賞」表彰式 取材のご案内

福岡県福岡市／京都府京都市／東京都／神奈川県横浜市／長崎県長崎市
香川県高松市／大阪府大阪市／広島県福山市／山形県鶴岡市の計 9 都市の会議が受賞

◆誘致の部 4 件、開催の部（大規模会議部門）4 件、開催の部（中小規模会議部門）5 件を選出
◆2008 年度より実施しており本年度で 18 年目
◆地方都市が世界の舞台に。地域資源を生かし国際会議を呼ぶ「日本の底力」を表彰

日時：2026 年 2 月 12 日（木）14：30～16：10　（メディア受付 14：00～）
会場：東京国際フォーラム B ブロック/5 階 ホール B5（東京都千代田区丸の内 3 丁目 5 - 1）
※第 35 回国際 MICE エキスポ（IME2026）会場内で開催します。

取材をご希望の方は下記フォームよりお申込みください。【締切：2026 年 2 月 9 日(月)17：00】
お申込みフォーム：https://qa.nta.co.jp/Q/auto/ja/03240/press/

2025 Japan Conference Excellence Awards

当日スケジュール（予定）

14：30　開会　　主催者挨拶　JNTO 理事長
ご来賓挨拶　観光庁
14：35　国際会議誘致の部紹介／表彰及び受賞者挨拶①～④
表彰①：第 23 回アジア・オセアニア地球科学学会年会（AOGS2026）（福岡県福岡市）
表彰②：第 21 回国際小児腎臓学会（京都府京都市）
表彰③：IEEE 音響・音声・信号処理に関する国際会議 2028（東京都）
表彰④：第 26 回世界哲学会議（WCP2028）（東京都）
14：55　国際会議開催の部（大規模会議部門）紹介／表彰及び受賞者挨拶⑤～⑧
表彰⑤：IEEE ロボット工学とオートメーションに関する国際会議 2024（神奈川県横浜市）
表彰⑥：第 27 回国際昆虫学会議（京都府京都市）
表彰⑦：第 8 回保健システム研究グローバルシンポジウム（長崎県長崎市）
表彰⑧：世界理学療法連盟学会 2025（東京都）
15：15　国際会議開催の部（中小規模会議部門）紹介／表彰及び受賞者挨拶⑨～⑬
表彰⑨：第 18 回アジア太平洋ギフテッド教育研究大会（香川県高松市）
表彰⑩：IGLTA 2024 大阪総会（大阪府大阪市）
表彰⑪：第 20 回世界バラ会議福山大会 2025（広島県福山市）
表彰⑫：ISO TC37 年次総会（香川県高松市）
表彰⑬：第 16 回国際クマムシ学会（山形県鶴岡市）
15：30　閉会
15：40～写真撮影
※スケジュールは今後変更になる可能性がございます。時間に余裕をもってお越しくださいませ。
※事後に当日のオフィシャル素材を提供いたします。

【表彰式に関する報道関係者からのお問い合わせ先】
国際会議誘致・開催貢献賞運営事務局（株式会社日本旅行内）　髙坂、西尾
TEL：03-5369-4534 FAX：03-3225-1004
E-MAIL: koken_award@nta.co.jp

「国際会議誘致・開催貢献賞」の運営サポートおよび表彰式実施の事務局は、株式会社日本旅行が受託しています。